

---

# 「MRI 画像のテクスチャ解析を用いた子宮筋腫の偽閉経療法の効果予測 モデルの構築」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報等を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

## 研究の概要について

### 1. 研究の対象となる方

2009年01月01日から2024年12月31日の期間に子宮筋腫の治療のため【埼玉医科大学病院】を受診し、偽閉経療法を受け治療の前後でMRIが撮像された患者さんを対象としております。

### 2. 研究の目的

MRIを使って、コンピューターで偽閉経療法がよく効く子宮筋腫とそうでない子宮筋腫を調べます。また人工知能を駆使して、子宮筋腫の症状で悩んでいる患者さん向けに、偽閉経療法の治療効果の予想が可能なモデルを作成します。

### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年03月31日

### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年3月17日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

## 研究に用いる試料・情報について

### 1. 試料・情報の内容

- ・診療記録による年齢、性別、偽閉経療法の治療内容（使用した薬剤、治療期間）、手術や化学療法の既往、妊娠歴、出産歴、流産歴、治療前後の臨床症状等
- ・撮影されたMRI画像データを用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学病院】において、研究責任者である井上快児が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

### 2. 試料・情報の取得方法

子宮筋腫と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データ、診療記録およびMRI等

を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学病院 放射線科 井上 快児（研究責任者）
- ・埼玉医科大学病院 放射線科 小澤 栄人
- ・埼玉医科大学病院 放射線科 名川 恵太
- ・埼玉医科大学病院 産婦人科 梶原 健

### 4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚 望

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。
- ・研究計画や研究実施に関する手続きの相談、研究により得られた結果等に関する相談がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学病院 放射線科 井上 快児

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1265（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：kaiji@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：MRI 画像のテクスチャ解析を用いた子宮筋腫の偽閉経療法の効果予測モデルの構築

○研究代表者：埼玉医科大学病院 放射線科 井上 快児